



ネパール地震 緊急支援募金 No. 2 「ネパール YMCA の支援活動」

ネパール地震緊急支援募金にご協力いただき、ありがとうございます。

5月1～3日の間に、現地ネパール YMCA の Mukti Nath Acharya 総主事から発信された支援活動の様子をお伝えします。

◆ ネパール YMCA Acharya 総主事より

ネパール YMCA では、ボランティアやスタッフを含め約 30 人体制で、緊急支援活動を行っています。スタッフの中にも、自宅が被害を受けた者もいますが、ネパール YMCA の総力を結集して、緊急の支援活動を進めています。これまでに下記の様な支援活動を行いました。

● 5月1日

ネパール YMCA のチャイルドケア施設がある Khumaltar 地区では、清掃活動を行いました。Pangauli 地区では、米や砂糖、紅茶などの食料を約 200 名に配布しました。この地区では、カーペット作りの職人がいましたが、その工場も地震によって屋根が崩壊しました。また、物資を配布する際、これから来る雨季に向けて感染症の予防の重要性を住民に伝えました。

● 5月2日

ラリトプールにある Ekdole 村は、ネパールの中で最も被害が大きい地域の一つで、他の支援団体からの支援がまだ届いていない地域です。ここでは約 100 世帯の人達に食料を届けました。特に他の団体や政府の支援が未だ届いていない地域を訪問し、物資の配布を行いました。

● 5月3日

チャイルドケアのプログラムを 1 週間休止して、全スタッフで緊急支援活動を開始することを決定しました。まずは食料、安全な水、医薬品、ブランケットやテントの配布をします。カトマンズやラリトプールなどを含めた、7 つの地域の子ども達を対象に、約 200 人の子ども達に奨学金を給付するために、現在 YMCA のスタッフが調査を進めています。



Tamang 村の農民と Acharya 総主事



ネパール YMCA のスタッフミーティングの様子